

子どもたちを闇バイトから 守るためのポイント

SNS上でアルバイトや副業の募集を見かけることはめずらしくありませんが、こうした募集には犯罪の実行者を募集する、いわゆる「闇バイト」も多く紛れています。報道によると、警視庁が2025年8月から11月までの4か月間に、X（旧Twitter）上の闇バイト募集の可能性がある投稿へ警告文を送った件数は約1万8,500件に達したそうです。子どもが巻き込まれないために、今一度、その特徴を親子で確認しておきましょう。

闇バイト募集でよくある特徴

SNSでのアルバイトや副業の募集投稿のうち、次の特徴がある文言は闇バイトの可能性が高いので応募しないことが重要です。

- ・「ホワイト案件」「安全な副業」など、安全性を強調する文言
- ・「1時間で10万円」など、短時間で高収入をうたう文言
- ・「スキル不要」「簡単な作業のみ」など、仕事内容が不明瞭でハードルの低さを強調する文言
- ・「口座買取」「SIM買取」など、名義人以外の人に口座や携帯電話契約の売買、譲渡や貸与を持ちかける文言

※警視庁の闇バイト対策の取り組み



応募してしまったあとの危険信号

闇バイトのなかには、その危険性を巧妙に隠して募集しているものがあります。安全で簡単そうに見えて軽い気持ちで応募してしまった場合でも、次のような要求が出てきたら危険な案件と考え、すぐにやり取りをやめ、信頼できる大人に相談するよう伝えてください。

- ・「人気の案件だから今すぐ決めて」など、判断を急かされたとき
- ・「他の人には秘密ね」など、秘密を強調して口止めされたとき
- ・「登録のために顔写真と家族の連絡先を送って」など、個人情報を求められたとき
- ・「以降の連絡はテレグラム（もしくはシグナル）で」など、特定のアプリへ誘導されたとき

家庭での指導

やり取りの中で少しでも不安を感じたら、子どもが自身の判断でやり取りをやめる、周りの大人に相談するという行動を取れるようにすることが大切なポイントになります。

「闇バイトには気を付けて」という抽象的な言葉で伝えるだけではなく、何が危険なのか具体的な事例を示すことで、子どもの危険意識を高め、適切に判断できるようにすることが大切です。それでも子どもが危険な闇バイトに関わってしまい、「申し込んでしまった」、「個人情報を渡してしまった」などの相談を受けた場合は、速やかに最寄りの警察署に相談してください。

また、仕事の意義や金銭の大切さなどを家庭内で話し合ってみましょう。

☎️【相談】#9110 【緊急】110番